

章	項	特 記 事 項	章	項	特 記 事 項	章	項	特 記 事 項	章	項	特 記 事 項		
4	① 基礎	※ 直接基礎（ ・ 地盤改良（ ・ 表層改良 ・ 柱状改良 ） ） 設計地耐力 5 kN/m ² ・ 杭基礎	5	場所打ちコンクリート杭地業	施工管理技術者 ※適用する （4.2.2） 寸法等（4.5.1～7）	⑦	コンクリートの材料	セメント	6	ターンバックル	鋼の種類 ※ 割棒式（7.2.6） ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト（7.2.7）		
		2			試験及び報告書			試験杭 位置、本数及び寸法 ・ 最初の1本 ・ 図示による（4.2.2） 杭の載荷試験 ※ 行わない ・ 図示による（4.2.3） 地盤の載荷試験 ※ 行わない ・ 図示による（4.2.4）			7	デッキプレート	
		3			既製コンクリート杭地業			施工管理技術者 ※適用する（4.2.2） 種類（4.3.1～8） ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 寸法、継手、性能等			8	柱底均しモルタル	材 料 ・ モルタル ・ 無収縮モルタル（表7.2.6）（7.2.9） 工 法 ※A種 ・ B種（表7.10.2）
4	鋼杭地業	先端部材形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 なお、特定埋込杭工における杭材料はJIS又は認定条件に適合するものとする ネガティブフリクション対策 杭の継手 ※不要 ・ 要（構造図による） ・ アーク溶接継手 ・ 標準仕様書4.3.6による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(a)(b)による ・ 構造図による ・ 無溶接継手（※評定等を受けたもの） 機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 切断しない ・ 切断する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート（基礎コンクリートと同調合）（ ・ ） 施工方法 ・ セメントミルク工法 ・ アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・ 1.5m程度 杭の支持地盤への掘入深さ ・ 1.0m以上 ・ 特定埋込杭工法 ・ H13国交告1113号第6による支持力算定式で $\alpha=2.5$ 程度を採用できる工法 ・ H13国交告1113号第6による支持力算定式で $\alpha=$, $\beta=$, $\gamma=$ を採用できる工法 ・ フレポーリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 杭周固定液の使用 ・ する ・ しない 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件または認定条件による ・ 施工管理技術者 ※適用する（4.2.2） 種類の記号 ・ SKK400 ・ SKK490 ・（4.4.1～6） 寸法、継手、性能等	6	コンクリートの強度	※ 普通コンクリート（6.2.2）(6.2.4) (表6.2.2） 設計基準強度 F _c (N/mm ²) ※ 21 18 ※ 21 15 下部・上部スラブ、柱 ※ 軽量コンクリート（6.10.1～6.10.4） 設計基準強度 F _c (N/mm ²) 種類 ・ 1種 ・ 2種 ※ 屋根床版のスラブは15cmとする。 ② コンクリートの種類 ※Ⅰ 類 ・Ⅱ 類（6.2.1）(表6.2.1） ③ 水セメント比 ※ 最大値は65%とする（低熱ポルトランドセメント及び混合セメントB種の場合は60%）（6.3.2） ④ コンクリート中の塩化物量 ※ 0.30kg/m ³ 以下 ⑤ コンクリートのアルカリ総量 ・ アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート中の総アルカリ量を3.0kg/m ³ 以下とする。（6.5.4） ⑥ コンクリートの仕上り 打放し仕上げの種類（6.2.5）(表6.2.4） ※ 合板せき板を使用する場合 種 別 せき板の種類 表面・せき板の程度 適用箇所 ・ A種 JAS（表面加工品） 表6.2.4 ※ 図示 ・ ・ B種 JAS B-C 表6.2.4 ・ ・ C種 JAS B-C 表6.2.4 ・	7	鉄骨工	鉄骨製作工場及び施工管理技術者 鉄骨製作工場 ・ 次表による加工能力のある工場 ・ 監督員の承諾する工場（7.1.3～4） 製作工場の加工能力 施工管理技術者 ※ 適用する ・ 適用しない 2 鋼材（7.2.1）(表7.2.1） 材 質 規 格 使用箇所 ・ S S 400 ※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外 ・ S S C 400 ※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外 ・ S T K 400 ※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外 ・ ※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外 ・ ・ JIS規格品以外の場合 ※ 試験を行う ・ 試験を行わない 3 高力ボルト ・ トルシア形高力ボルト（セツドの種類 ※ 2種（S10T） ・ ）（7.2.2） ・ JIS形高力ボルト（セツドの種類 ※ 2種（F10T） ・ ） ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト（セツドの種類 ※ 1種（F8T相当） ・ ） ボルト径 ※ 図示による ・ 4 普通ボルト ボルト及びナットの材料等 ※ 表7.2.3による（7.2.3） ボルト径 ※ 図示による ・ 5 アンカーボルトの材質及び設置（7.2.4）(7.10.3） 材質 構造用アンカーボルト ・ ABR400 ・ ABR490 ・ ABR520SUS 建方用アンカーボルト ・ S 400 ・ 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状・寸法 ※ 図示による（表7.10.1） 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ その他					
		5	鉄筋工事	① 鉄筋の種類（表5.2.1） 類 別 種 別 径 (mm) ※ JIS G 3112 ○ S D 295 A D10以上 ・ S D 295 B ○ S D 345 D19以上 2 溶接金網 網目の形状、寸法及び径 (mm) ・ 施工場所（ ）（5.2.2） 3 柱・梁の鉄筋の継手 ・ ガス圧接（SD295Aは不可） ・ 重ね継手（5.3.4） ・ 機械式継手 ・ 溶接継手（5.4.2） 継手位置 ※ 鉄筋工事仕様書による ・ 図示による ※ 鉄筋工事仕様書による ・ 各部配筋参考図7.1 ・ 図示による 5 圧接完了後の検査 検査方法 ※ 超音波探傷試験（5.4.10） ・ 引張試験 6 柱の帯筋 ・ 組み立ての形はSP形とする。（鉄筋工事仕様書）	8	溶融亜鉛めっき工法	種 別 ※ A種（軽量形鋼は板厚によりB種・C種とする。）（7.12.4） 表14.2.2						
		6	コンクリート工事	5 鉄筋の種類（表5.2.1） 類 別 種 別 径 (mm) ※ JIS G 3112 ○ S D 295 A D10以上 ・ S D 295 B ○ S D 345 D19以上 2 溶接金網 網目の形状、寸法及び径 (mm) ・ 施工場所（ ）（5.2.2） 3 柱・梁の鉄筋の継手 ・ ガス圧接（SD295Aは不可） ・ 重ね継手（5.3.4） ・ 機械式継手 ・ 溶接継手（5.4.2） 継手位置 ※ 鉄筋工事仕様書による ・ 図示による ※ 鉄筋工事仕様書による ・ 各部配筋参考図7.1 ・ 図示による 5 圧接完了後の検査 検査方法 ※ 超音波探傷試験（5.4.10） ・ 引張試験 6 柱の帯筋 ・ 組み立ての形はSP形とする。（鉄筋工事仕様書）	9	溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	摩擦面の処理 詳細は鉄骨工事仕様書による（7.12.5） ・ リン酸塩処理 ※ プラスト処理						

岡田設計

福山市郷分町628-6 TEL (084) 951-2728 一級建築士登録第218306号 岡田 秀仁

担当	A 2	100%	訂正	特記
担当 岡田	A 3	71%		
製図 2026. 8. 31				
検図 2026. 8. 31				

世羅町し尿処理施設地下タンク更新工事			2
建築工事特記仕様書	構造関係		共通